

令和7年度 新居関所史料館運営委員会会議録

日 時 令和8年2月3日（火）

14時00分～15時30分

会 場 湖西市役所 市長公室

○出席者

委 員	■ 渡辺 和敏	欠席
	○ 牧野 茂	
	平野 克典	
	後藤 建一	
	片山 愛司	
	小林 浩二	
事務局	松山 淳	湖西市教育委員会 教育長
	松原 聡史	湖西市産業部長
	竹中 幹晴	湖西市産業部文化観光課課長 兼 新居関所史料館長
	鈴木 紀子	湖西市産業部文化観光課 文化係長
	岡本 聡	湖西市産業部文化観光課 主任
	鈴木 友香	湖西市産業部文化観光課 主事

■：委員長 ○：副委員長 傍聴人：0名

次第

- (1) 令和6年度 新居関所史料館・紀伊国屋資料館事業について
- (2) 令和7年度 新居関所史料館・紀伊国屋資料館事業について
- (3) 令和8年度 新居関所史料館・紀伊国屋資料館活動計画案について

- (1) 令和6年度 新居関所史料館・紀伊国屋資料館事業について
- (2) 令和7年度 新居関所史料館・紀伊国屋資料館事業について

(委員) 広報手段は、市のホームページのほかに SNS インスタグラムなどは使っているのか。

(事務局) SNS はインスタグラムとフェイスブックをしている。

(委員) QR コードをポスターやチラシに入れ、より多くの情報を提供できるようにしたほうがよい。QR コードを読み込むと関所の紹介ができるものがあるとよい。いろいろと事業をやっているのに、知られていないのが一番の課題だと思う。

(委員) 我が家のあつめたモノで、知り合いで「唐箕」を持っているという人がいる。

最近ローカル TV で資料館を紹介する番組があった。TV を呼べるといい。

(委員) 紀伊国屋の夜間開放は、住吉様とうまく絡めた。これからも土日や無料などうまく絡めて人を呼び込んでほしい。

「私のあつめたモノ」展では新聞の取材記事が、企画展の中盤に掲載されたので、入館者数が伸び悩んだ。

実証実験の観光案内所は、気軽に立ち寄り話を聞けるのがよかった。

(委員) 企画展と展示会は、どういうふうに区分しているのか。

(事務局) 展示会は企画展の半分程度のスペースなど小規模のものを展示会と言っている。

(委員) SNS 等に広げてもらうためには、館内の写真撮影の禁止を緩和したらどうか。写真撮影できないものだけ書いておけば、他のものに関しては写真撮影を許可してもいいと思う。

また、男性がどのくらい、女性がどのくらいとか、日本人がどのくらいとか、そういう年代とか、コンビニのレジのように大概の統計がとれないか。
(事務局) 現在、受付は機械レジ等がなく、そこまでできていない状況である。
(委員) 関所の北側は散歩などをして休憩できるようなスペースにできないか。
紀伊国屋は、涼気な印象なので団子やお茶等で休憩できたらよい。
(事務局) 空調はないので、夏は暑く冬は寒いですが、来館者は思い思いゆっくりと過ごす方もいる。

(3) 令和8年度 新居関所史料館・紀伊国屋資料館活動計画案について

(委員) 広報は静岡新聞社@エスは無料で掲載が可能だがやっているか。
(事務局) 掲載している。
(委員) 新聞広告は、新聞を取っていない人が多くなったのであまり効果がないのではないか。やはりインスタグラムなど SNS を利用しないと、若手の人たちは情報が届かないと感じている。
せっかく50周年をやるので、浜松や二川など他の資料館との広域連携をしたらどうか。
例えば浜松から二川で東海道を点々と行くと、いろんな資料館見られてそれぞれの学習ができるとか。
(事務局) 今年は碓井関所が400年だったため、講座で話しにいったが、近隣の東海道筋の博物館とは連携事業はない。
(委員) 無理のないように連携して、お得感や2ついっぱい見られるよとか、お互いに情報を出し合うというか、こうきたら次はそこもあるよ、とか、連携していかないと、単独はなかなか難しい、と思っている。
外国人は歴史物が好きなので、インバウンドの呼び込みもしてほしい。
(委員) 関所改めの体験をしたい。昔はどんなふうに通ったか、門をくぐって手形を見せるかもしれないけど、面番所で審査を受けて、その後あそこの船着き場で船に乗り込むようなそういう一連の流れをイベントとして体験できないかなと思っている。
ロゴマークは史料館建物をイメージしたロゴか？
(事務局) 新居関跡や史料館をイメージしたものであるのですが、史料館建物だけでなく、門や面番所なども使用することを想定している。
(委員) 広告は、ある程度内容を詰めて詳細情報ができてからのほうがよい。
アニメの主人公で関所を紹介するようなものはできないか。
(委員) 以前、寸劇をやっていたことがあるが、寸劇などでもいい。
(委員) PR 方法は、豊橋市美術博物館や二川本陣資料館などにポスターやパンフレットを配架して、歴史好きな人を呼び込んだらどうか。
インスタは、どうやったら目に留まるのか。
(事務局) ハッシュタグや位置情報を公開するなどの方法がある。
(委員) 講演会は、他の関所の比較でもよいが、新居関所の内容を入れてほしい。身近に感じて興味を持つのではないか。
(事務局) 講座に来てくれる人は、固定化しつつあるので、もう少し多くの人に興味を持ってもらえるような講演にしたい。
(委員) 元文芸大の磯田教授などは知名度が高い。
(事務局) 知名度や研究内容から検討したい。
本日欠席の渡辺委員長からは、50周年を契機に、資料の展示の仕方とか見せ方だいぶ変わってきているので、他の館をしっかりと見に行き、改善したらどうか、と意見をいただいている。

以上